











38

35.0km附近



23

37

34.0km附近



36

33.0km附近



35

32.0km附近



38

35.0km附近





36

33.0km附近



35

32.0km附近



38 35.0km附近



37 34.0km附近



36

33.0km附近

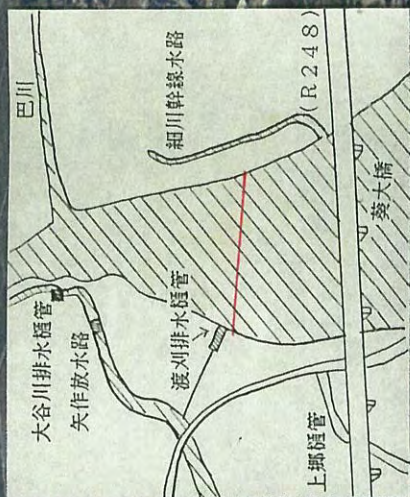


35

32.0km附近

87.3





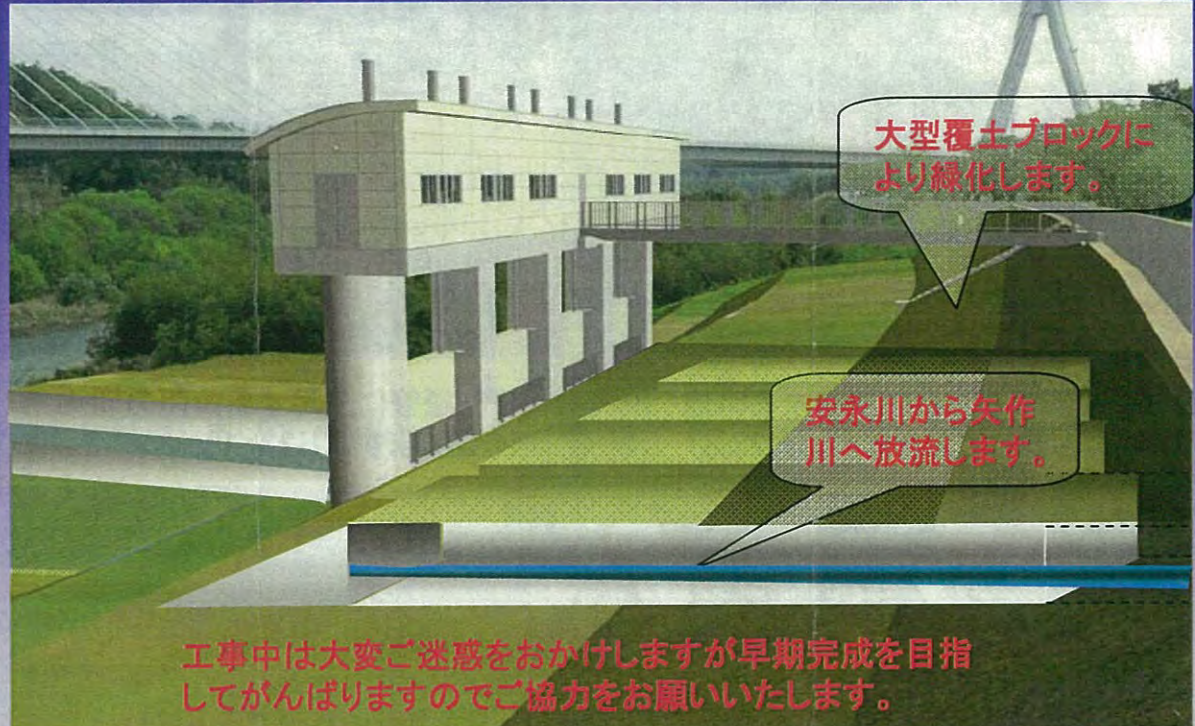
平成22年度 矢作川安永川排水樋門工事

工期 平成22年8月3日～平成24年6月29日

矢作川と安永川の合流設備です。



水門で安永川から矢作川への放流量を調整します。

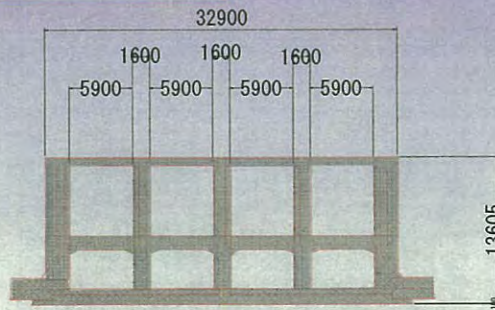


大型覆土ブロックにより緑化します。

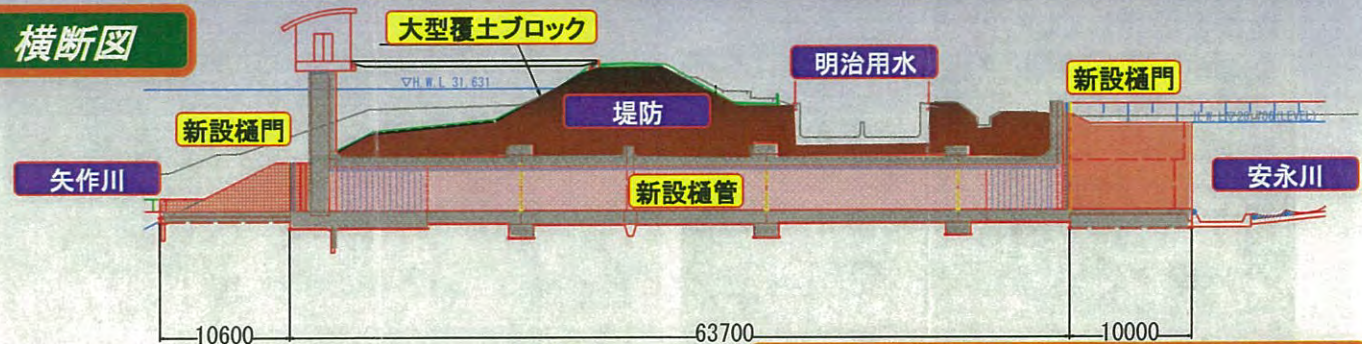
安永川から矢作川へ放流します。

工事中は大変ご迷惑をおかけしますが早期完成を目指してがんばりますのでご協力をお願いいたします。

正面図



横断図



工程表

年月		平成22年度									平成23年度												平成24年度					
工種		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
河川土工																												
	締切盛土・仮設工																											
樋門・樋管																												
	掘削工																											
	樋門・樋管本体工																											
堤防・護岸工																												

発注者



国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所 岡崎出張所
TEL 0564-22-1564

施工者



前田建設工業(株) 中部支店
安永川樋門作業所
TEL 0565-74-1128



★安永川樋門概要

安永川最下流部で矢作川との合流設備で、同規模河川の合流部処理における一般的な河川構造物は水門構造であるため、水門構造と同等の治水安全度を有する樋門となるよう計画された。

(設備概要)

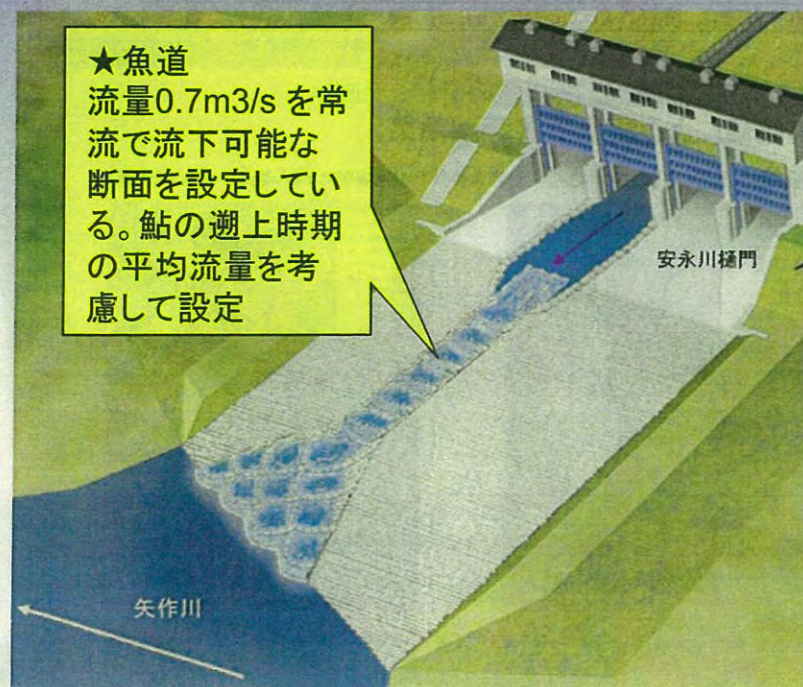
○100m³/sの流下能力

(目的)

○安永川の排水量調整と矢作川からの逆流防止のための設備

(特長)

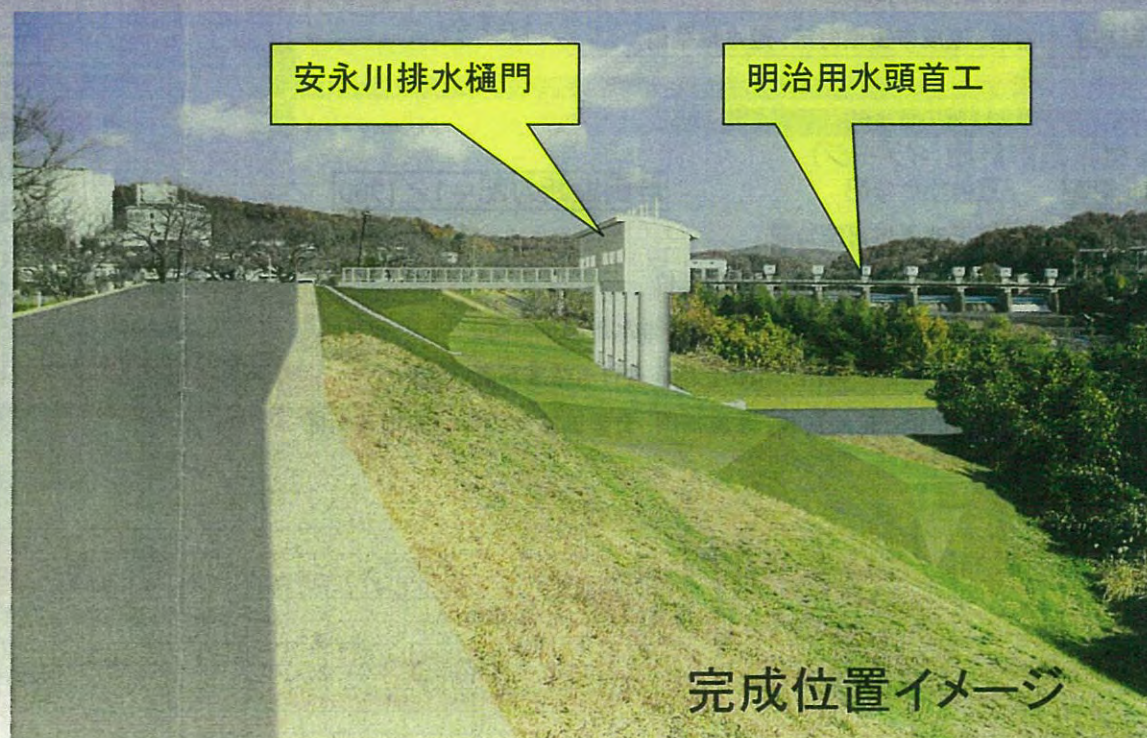
○鮎を対象とした魚道を計画しております。



★魚道
流量0.7m³/sを常流で流下可能な断面を設定している。鮎の遡上時期の平均流量を考慮して設定

安永川樋門

矢作川



安永川排水樋門

明治用水頭首工

完成位置イメージ







2010.3

渡刈町5丁目

矢作放水工(土地改良区)
矢作制水門

豊田市渡刈
クリーンセンター

合橋

大谷川排水樋管(市)

清徳橋

今町

今町

神明排水樋管(市)

明治用水

八尾川排水樋管(市)

明治用水取水口(土地改良区)
明治用水管理事務所
砂池
水源地

大明神橋

33/2

33/4

33/6

33/8

34/0

34/2

34/4

34/6

渡合排水樋管(1)(市)

渡合町2丁目

渡合排水樋管(2)(市)

渡合町1丁目

渡合排水樋管(3)(市)

34/6

清戸橋

水三雙線(新川線知極野瀬橋)

渡合町3丁目

琴平川

渡合町5丁目

渡合町4丁目

郡界橋

巴川

細川幹線水路

落合恵水路(市)

細川水位観測所
権水恵水路2号樋管(市)

岩津用水

権水恵水路3号樋管(市)

細川町

岡崎市

県道細川豊田線

琴平町



2000.1.2
豊田市

渡刈町5丁目

河合橋

高添橋

河合町7丁目

今町8丁目

今町7丁目

今町7丁目

今町5丁目

今町3丁目

水源町4丁目

水源町5丁目

水源町6丁目

大明神橋

清徳橋

神明排水ひ門

明治用水

安永排水ひ門

明治用水管理事務所

水源管理所

枕砂池

旧明治

岩津用水

細川水位観測所

細川ひ管

細川幹線水路

郡界橋

渡合町5丁目

渡合町3丁目

渡合町4丁目

渡合町2丁目

渡合町1丁目

清戸橋

渡合川排水ひ管

県道細川豊田線

明治用水取水口

水源橋

八尾川排水ひ管

八尾川

県道細川豊田線

巴川

琴平川



1947.3

明治用水頭首工

水源橋

明治用水 34.0K

34.0K

明治用水 33.0K

33.0K

細川橋門

巴川

岡崎市

豊田市









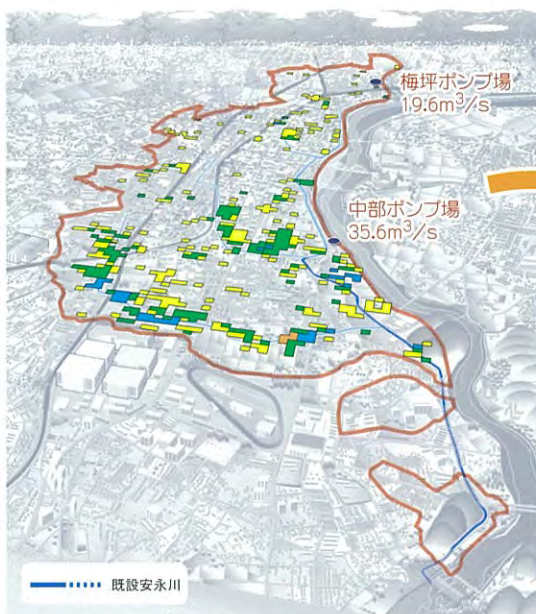
改修の効果は？

▶1/10計画降雨による浸水予想区域

現況安永川トンネル部は、2年に1回程度降る雨を排水する能力しかありません。(約10m³/s)
整備計画目標である10年に1回程度降る雨が降った場合、現況では、右に示すように浸水被害が発生します。
整備後は、浸水被害は概ね解消されます。

浸水被害	
	0.10m～0.20m
	0.20m～0.50m
	0.50m～1.00m
	1.00m～1.50m

整備前



現況施設の浸水予想図

整備後



一級安永川および上流準用河川の改修と下水道面整備が完了した時点の浸水予想図

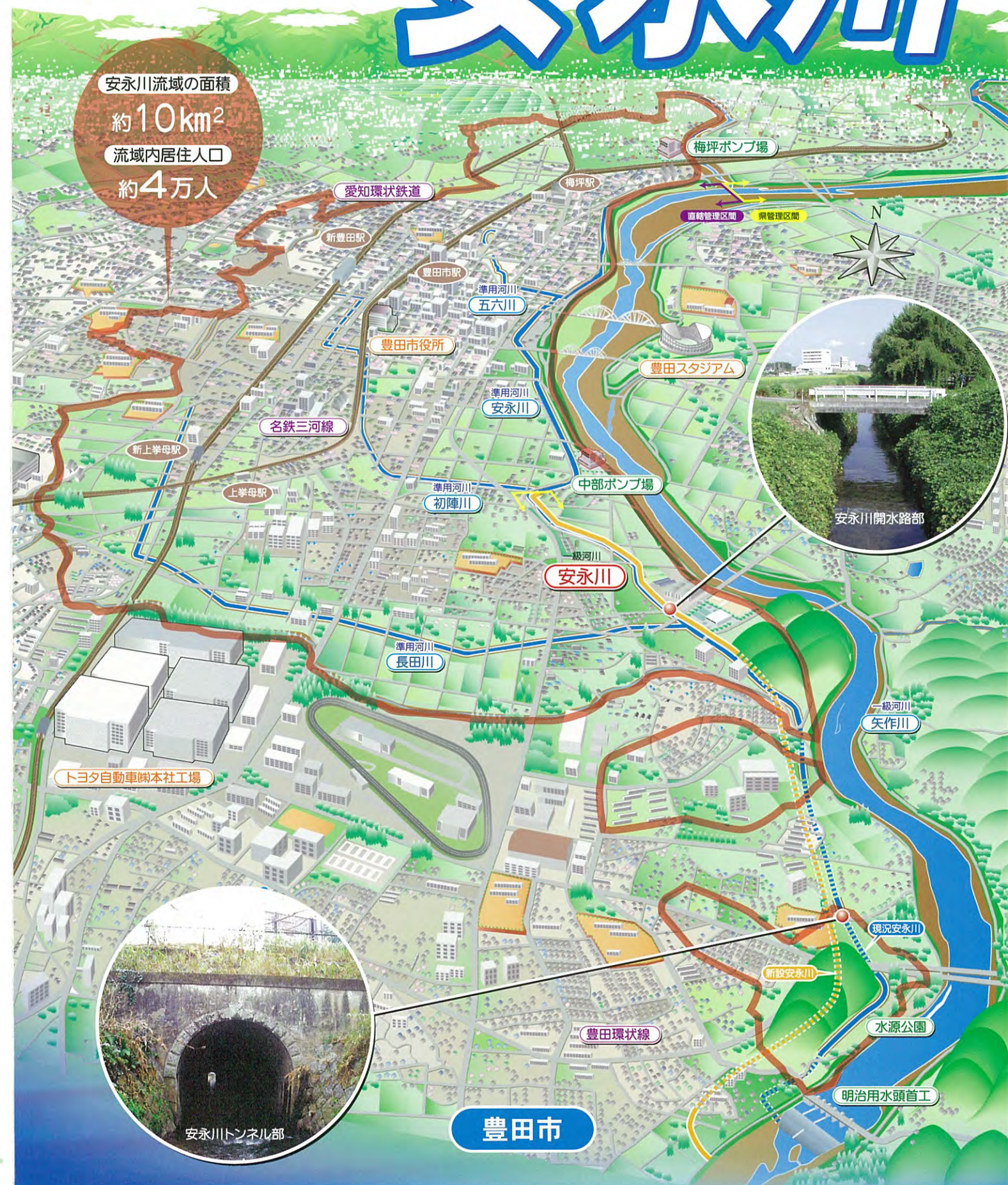
安永川の河川整備計画について

○安永川の河川整備計画は、河川法第16条の2に基づき「一級河川矢作川水系矢作川中流域河川整備計画」の中に位置づけられました。
※平成16年10月13日 国土交通省により認可
※平成16年11月19日 河川管理者である愛知県が策定
○河川法第16条の3の手続きにより、豊田市が安永川の河川整備計画に基づく河川工事を行うことになりました。※平成17年10月6日 豊田市告示

都市基盤河川改修事業

一級河川

安永川



環境への配慮は？

安永川流域では、河川空間を都市部の貴重な水辺空間と位置づけ、都市基盤整備と一体となった環境整備を目指します。



下流部イメージ図



豊田市建設部河川課

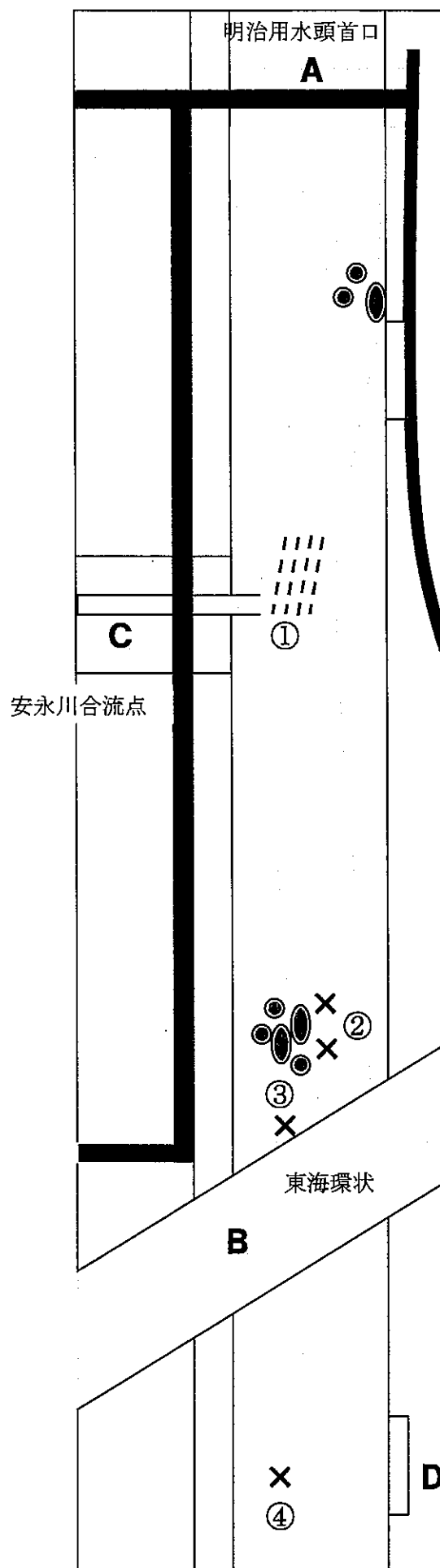
〒471-8501 豊田市西町3-60
TEL:0565-34-6672 FAX:0565-33-2460

平成25年3月作成



安永川トンネル部

豊田市



●A～D点間の重要性。(回遊魚の聖域)

現在、矢作川には海や汽水域から遡上してくる生きものが、アユの他にも多く存在する。カマキリ(アユカケ)、ボウズハゼ、サツキマス、ウナギ、ゴクラクハゼ、カジカ、シマヨシノボリ、オオヨシノボリ、ヌマチチブ、マハゼ、ボラ、セイゴ、ミナミテナガエビ、モクズガニなど。これらの多くは河口より35kmの長旅の後、Aのダムを越えられず、この地点に止まることになる。

*回遊魚にとっての最上流であること。(たまり場)

*Aダムから海までは砂川となり、このように岩が露出し、淵と瀬が連続する場所は、下流部では極めて貴重。

また、これより下流には、車を停められるこうした場所がないため、ここは人がよく訪れ、川を見下ろす場所でもある。花見客、バーベキューだけでなく、釣りや川遊びに訪れる人もいる。生物だけでなく、景観も川の宝だと考えたい。

●A点(明治用水頭首口)

海に一番近い、最下流のダム。

階段魚道が設置されており、アユがよく上ることでも有名。しかし、アユ以外の魚にはほとんど機能していないことが捕獲調査でも証明されている。同じ矢作川本流でも、Aダムの上流と下流では、魚類相が著しく異なる。

●B点、(東海環状・アローブリッジ)

この橋の工事により、本流の流れが一変した。④にあった浅瀬は消失し、オイカワなどの大産卵地がなくなった。さらに、浅瀬のあった場所には砂が堆積し柳が繁茂、川の流れを左岸に糊付けした。D点の土砂崩れはこの橋の影響による？

この冬、治水のために③から④に向けてバイパス水路が作られたのだが、結果、③の地点にあった大きなワンドが消失した。このワンドは毎年、コイ、フナが産卵し、アユの群れが休み(夜)、増水時には多くの魚が避難していた場所である。

●C点(安永川合流点)

市街地に自然の川を再生する目的で工事の進んでいる安永川だが、コンクリートむき出しの工事をするようでは、もう底が見えたか。矢作川本線の景観をぶち壊すようでは、本末転倒といわざるを得ない。

*コンクリートむき出しにする必要があったのか？

*他の方法は、なかったのか？

この地点は、下流域では最も人が訪れ(花見客、バーベキュー)、川を見下ろす場所でもある。市街地の河川公園同様、景観への配慮が必要なのでは？

*安永川を本流に直角にぶつける意図は？

問題は安永川の流れ出しが本流①の瀬に影響を及ぼすのではないかという点にある。

参考a ①の点でこれまでに観察したもの。(夏)

- ・カジカ、ボウズハゼの幼魚の群れ。
- ・カジカ、ボウズハゼ、アユカケなどの成魚。
- *この瀬は彼らの特等席のようだ。

参考b 安永川合流点の工事後、②③の淵が早くも砂で埋まり始めた。増水で戻るかもしれないが戻らないかもしれない。①の瀬にも影響が出るのでは？

ダム下の淵や瀬は、遡上できない魚がやむをえず集まる場所。できることなら、彼らにも安住の地を与えたい。

また、ここに限らず川の合流点は生物の集まる場所である。

- ・川底に変化ができるから
- ・水温や流速に変化ができるから
- ・視線へ移動する為に、体を慣らす場所。
- ・増水時には、ここが魚の避難場所になる。

そういった意味を踏まえ、合流点に工事には細心の注意が必要となる。

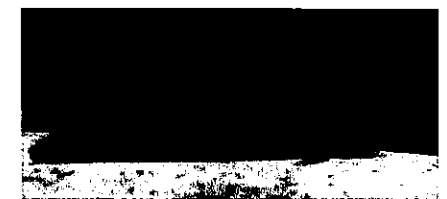
●D点(防災上のコンクリート護岸)

防災のためだといわれると何もいえないが、他に方法はなかったのか？ 堤防の上までべったりと固められたコンクリートの壁は悲しい景観。土手の生き物の移動にも影響あり。さらに、この工事を横に拡張しようという気配も見られるのだが・・・。

海から旅をしてきた生きものたち



カマキリ(アユカケ)



ボウズハゼ



カジカ



シマヨシノボリ



ゴクラクハゼ



ミナミテナガエビ



モクズガニ

ここで出会った中学生

夏休み、部活の帰りにここで遊ぶサッカー部員。小さな生きもの同様、彼らは居心地のよい気持ちいい場所を知っている。

